

次の文章を読んで、設問に答えなさい。

私たちが芸術の価値をいうのは、その与える感動、感銘と切り離せないが、こういうものは感覚的心情的な働きであって、理性的論理的判断によってきまるのではないのだから、私たちにできることは、ただ自分の感動を、あとから、できるだけ順序立てて、のべながら、他人にも伝達可能のものにしようと努力するぐらいのものである。

では、「価値」をきめることは全く不可能だろうか。私は、決定はできないが、それを助ける補助手段はあると思う。それは、ほかのものと比較してみることで、それも同じ国内のもの、あるいは同じ文化圏のものと士というだけでなく、別の歴史的社会的背景をもつ別の圏のものと比較するというやり方である。もともと、すぐれた芸術はすべて一回きりのもの、つまり固有の価値をもつ独自の存在だから、他とくらべて高いも低いもないのである。しかし、高低でなく、どちらがうか、どこが独自かを考察して見ることはできる。ことに、それは別の文化圏のものと比較することによって、そのものの価値がよりはっきり見えてくるのが普通である。

一つの例でいえば、絵画その他の美術品には価格という目もりがある。そういう中で、私には現代日本での美術品の値段はべらぼうに高いような気がする。誰とかは号何十万円、誰とかはいくらという話をきくと、私はつい、「それを買う金があったら、外国にいった何々の絵を買ってくるのになあ」と思ってしまう。私は素人だから、どうして日本ではこんなに高いかわからない。ある美術関係の知人は「しかし、値段はすべて需要があつてきまるのだから、高いように見えても、現実的根拠があるのです」と説明してくれた。しかし、需要供給といっても、私は簡単に呑みこめない。現にみんなが知っているように、毎年毎年ありあまるほど生産され、国中の倉庫がいっぱいになって、その備蓄のためだけに巨額の費用がかかっている米の値段。外国でとれたマグロその他の魚類の日本での値段。あるいはこの間の日米オレンジ自由化戦争、日豪牛肉輸入の攻防戦。こういう問題を通じて、一貫している事実、日本における値段が、国外におけるそれと、比較にも何にもならないくらいちがうということである。その日本国内での値段を単なる需要供給の関係だけで説明するのは不可能だろう。

だが、外国との比較がものの価格、価値を考える唯一の手段ではない。そこにはまた別の問題が生まれてくる。外国人の日本及び日本人観がすべて正しいわけでもなければ、ましてそれをそのままのみに

にするのは、また別の誤りを冒す危険がある。だが、比較は私たちがものごとを判断するのを助ける。逆に言えばその比較が自由に行われたいところでは、値段の当否を考えるのが非常にむずかしくなり、時には途方もないことになる。現代日本の絵や工芸品の値段が——少なくとも私などの目に——やたら高いと思われるのは、ここでは外国との比較が少ないからではないだろうか。その価格が鎖国的状態の中でつけられているからではないか。「外国の市場に持ち出したら、いくらになるか」を考える材料があまりにも少ないからではなからうか。

こう考えてくると、日本の社会には、自分以外のものとの比較を拒否する姿勢が強いからではないかという気がしてくる。なぜか知らないが、この国では、自分の仕事をほかの人のそれと比べて論じたり、論じられたりするのを好まない習性が、根深く、厳然と存続している。はたからみれば、同じ領域のものとみえても、当人たちは、どちらも、自分はあれと違う、あれは自分と別だと主張して、比較を許さない。一家をなすほどのひとはみんな自分だけの、あるいは自分とその徒弟だけの流派を立て、その中にたてこもって、家元を先頭に整然たる上下関係の秩序で縛られた集団をつくり上げてしまう。私はよく知らないのだけれど、生け花でもお茶でも、三味線や琴の演奏法でも、何でも彼でもそうである。そうして、ほかの人のしていることには口を入れないから、こちらにも干渉してほしくないという態度を示す。こういうことは、何かといえば秘伝秘儀をふりまわすのが好きだった日本人の伝統的芸能だけでなく、近代的学問、芸術の世界から、この社会全体の生活、福祉に直接かわりあいのあるはずの政党の世界にまで及んでゆく。この点は丸山真男さんのいう通りである。こんなに誰も彼もが同志と共に、無数の流派、徒党によりタテワリにされ、タコツボに入りたがる社会は珍しいのではあるまいか。私は外国にそれが全くないとは信じないが、果たして日本ほどそれが徹底的にあらゆる分野に及んでいるかどうか。

(吉田秀和「響きと鏡」より)

- I. この文章の論旨を200字以内でまとめなさい。
- II. 日本人が芸術作品の価値を判断するのに「有名かどうか」という基準を用いるのはなぜでしょうか。本文の論旨をふまえて、あなたの意見を述べなさい。(全体で400字程度)